

2019年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年5月9日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社 上場取引所 東・名・札・福  
 コード番号 2503 URL <https://www.kirinholdings.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長 （氏名） 磯崎 功典  
 問合せ先責任者（役職名）コーポレートコミュニケーション部長 （氏名） 堀 伸彦 （TEL）03-6837-7015  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		事業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	434,331	0.7	36,857	△0.6	△25,988	—	△36,539	—	△40,754	—	△26,981	—
2018年12月期第1四半期	431,201	4.0	37,067	△3.2	74,602	68.6	62,973	115.5	50,067	123.7	27,316	△34.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2019年12月期第1四半期	円 銭 △46.42	円 銭 △46.42
2018年12月期第1四半期	54.86	54.85

（参考）営業利益 2019年12月期第1四半期 △29,793百万円（—） 2018年12月期第1四半期 50,009百万円（26.9%）

※事業利益とは事業の経常的な業績を測る利益指標で、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して計算しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2019年12月期第1四半期	百万円 2,267,484	百万円 1,121,046	百万円 851,632	% 37.6
2018年12月期	2,303,624	1,200,920	916,080	39.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2018年12月期	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 —	円 銭 27.00	円 銭 51.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	31.50	—	31.50	63.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		事業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,000,000	3.6	190,000	△4.7	132,900	△46.2	81,900	△58.0	62,900	△61.7	71.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注）2019年4月26日に公表した通期業績予想からの修正はありません。

（参考）営業利益 2019年12月期 105,400百万円（△46.9%）

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期 1 Q	914,000,000株	2018年12月期	914,000,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	36,003,483株	2018年12月期	36,001,121株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期 1 Q	877,997,409株	2018年12月期 1 Q	912,603,427株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。
- (2) 決算補足説明資料は本日5月9日(木)に、また、本日開催の決算説明会(電話会議)における資料・主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。  
(当社ホームページURL)  
<https://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/event/explain/index.html>

○添付資料の目次

1. 要約四半期連結財務諸表 .....	2
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	2
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	6
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8

1. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	527,039	575,072
のれん	244,222	237,170
無形資産	179,892	163,001
持分法で会計処理されている投資	240,597	244,019
その他の金融資産	177,787	183,744
その他の非流動資産	13,653	13,297
繰延税金資産	88,676	86,823
非流動資産合計	1,471,866	1,503,127
流動資産		
棚卸資産	204,837	221,919
営業債権及びその他の債権	404,934	360,018
その他の金融資産	6,713	8,188
その他の流動資産	42,172	47,232
現金及び現金同等物	173,102	127,002
流動資産合計	831,758	764,358
資産合計	2,303,624	2,267,484

(単位：百万円)

	前年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資本		
資本金	102,046	102,046
資本剰余金	2,238	△4,139
利益剰余金	943,468	878,187
自己株式	△101,904	△101,906
その他の資本の構成要素	△29,767	△22,555
親会社の所有者に帰属する持分	916,080	851,632
非支配持分	284,840	269,414
資本合計	1,200,920	1,121,046
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	317,937	289,854
その他の金融負債	92,078	143,738
退職給付に係る負債	68,441	67,744
引当金	6,914	6,914
その他の非流動負債	10,851	9,405
繰延税金負債	16,534	20,374
非流動負債合計	512,755	538,029
流動負債		
社債及び借入金	97,057	173,313
営業債務及びその他の債務	227,137	213,979
その他の金融負債	49,727	53,235
未払法人所得税	17,339	10,036
引当金	1,059	991
その他の流動負債	197,630	156,856
流動負債合計	589,949	608,410
負債合計	1,102,704	1,146,438
資本及び負債合計	2,303,624	2,267,484

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上収益	431,201	434,331
売上原価	245,297	243,076
売上総利益	185,904	191,255
販売費及び一般管理費	148,837	154,398
事業利益	37,067	36,857
その他の営業収益	18,182	2,350
その他の営業費用	5,240	69,001
営業利益(△は損失)	50,009	△29,793
金融収益	772	701
金融費用	2,922	2,288
持分法による投資利益	6,961	5,392
持分法で会計処理されている投資の売却益	19,782	—
税引前四半期利益(△は損失)	74,602	△25,988
法人所得税費用	11,629	10,551
四半期利益(△は損失)	62,973	△36,539
四半期利益の帰属		
親会社の所有者(△は損失)	50,067	△40,754
非支配持分	12,906	4,215
四半期利益(△は損失)	62,973	△36,539
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)	54.86	△46.42
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)	54.85	△46.42

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期利益(△は損失)	62,973	△36,539
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品の公正価値の 純変動	△3,462	4,144
確定給付制度の再測定	△563	△20
持分法によるその他の包括利益	175	441
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△37,854	6,360
キャッシュ・フロー・ヘッジ	650	283
持分法によるその他の包括利益	5,398	△1,649
その他の包括利益合計	△35,657	9,558
四半期包括利益	27,316	△26,981
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,170	△33,003
非支配持分	10,146	6,023
四半期包括利益	27,316	△26,981

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定
2018年1月1日残高	102,046	2,208	811,454	△2,020	73,523	—
四半期利益	—	—	50,067	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△3,409	△121
四半期包括利益	—	—	50,067	—	△3,409	△121
剰余金の配当	—	—	△23,271	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△9	—	—
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—	—
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	22	—	—	△0	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	5,802	—	△5,922	121
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	22	△17,470	△9	△5,923	121
2018年3月31日残高	102,046	2,230	844,051	△2,029	64,192	—

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計			
2018年1月1日残高	△27,352	△2,031	44,140	957,828	271,311	1,229,139
四半期利益	—	—	—	50,067	12,906	62,973
その他の包括利益	△30,019	652	△32,897	△32,897	△2,760	△35,657
四半期包括利益	△30,019	652	△32,897	17,170	10,146	27,316
剰余金の配当	—	—	—	△23,271	△3,764	△27,035
自己株式の取得	—	—	—	△9	—	△9
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	△87	△87
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	1	—	1	23	119	142
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△5,802	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	△1	△1
所有者との取引額合計	1	—	△5,800	△23,258	△3,732	△26,990
2018年3月31日残高	△57,370	△1,379	5,442	951,740	277,725	1,229,465

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定
2019年1月1日残高	102,046	2,238	943,468	△101,904	56,863	—
会計方針の変更による影響額	—	—	△1,262	—	—	—
会計方針の変更を反映した2019年1月1日残高	102,046	2,238	942,205	△101,904	56,863	—
四半期利益(△は損失)	—	—	△40,754	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	3,763	441
四半期包括利益	—	—	△40,754	—	3,763	441
剰余金の配当	—	—	△23,706	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	—
自己株式の処分	—	0	—	4	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—	—
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	△6,377	—	—	52	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	441	—	0	△441
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△6,377	△23,265	△2	53	△441
2019年3月31日残高	102,046	△4,139	878,187	△101,906	60,679	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計			
2019年1月1日残高	△85,366	△1,263	△29,767	916,080	284,840	1,200,920
会計方針の変更による影響額	—	—	—	△1,262	△215	△1,477
会計方針の変更を反映した2019年1月1日残高	△85,366	△1,263	△29,767	914,818	284,625	1,199,443
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△40,754	4,215	△36,539
その他の包括利益	3,264	283	7,751	7,751	1,807	9,558
四半期包括利益	3,264	283	7,751	△33,003	6,023	△26,981
剰余金の配当	—	—	—	△23,706	△5,172	△28,878
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	△6
自己株式の処分	—	—	—	4	—	4
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	△124	△124
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	△150	—	△98	△6,475	△15,938	△22,413
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△441	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	0	0
所有者との取引額合計	△150	—	△539	△30,183	△21,234	△51,416
2019年3月31日残高	△82,253	△981	△22,555	851,632	269,414	1,121,046

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループは当第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」(以下、IFRS16という。)を適用しております。

(1) 重要な会計方針

リースは、リース開始日において、使用権資産及びリース負債を認識しております。

①使用権資産

使用権資産は取得原価で当初測定しており、取得原価は、リース負債の当初測定の金額、当初直接コスト、原資産の解体並びに除去及び原状回復コストの当初見積額等で構成されております。

使用権資産の認識後の測定として、原価モデルを採用しております。使用権資産は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した価額で、対応する原資産が自社所有であった場合に表示される連結財政状態計算書上の表示項目に含めて表示しております。

当初認識後は、原資産の所有権がリース期間の終了時までに移転される場合、又は使用権資産の取得原価が購入オプションを行使することが合理的に確実である場合には、原資産の見積耐用年数で、合理的に確実でない場合にはリース期間と使用権資産の見積耐用年数のいずれか短い期間にわたって定額法により減価償却を行っております。

②リース負債

リース負債は、リース開始日現在で支払われていないリース料をリースの計算利率を用いて割り引いた現在価値で当初認識しております。

リースの計算利率が容易に算定できない場合には、当社グループの追加借入利率を用いており、一般的に当社グループは追加借入利率を割引率として使用しております。

リース負債は、リース負債に係る金利を反映するように帳簿価額を増額し、支払われたリース料を反映するように帳簿価額を減額することにより事後測定しており、連結財政状態計算書上、その他の金融負債に含めて表示しております。

なお、当社グループは短期リース及び少額資産のリースについては、リース料は他の規則的な方法により利用者の便益のパターンがより適切に表される場合を除いて、リース期間にわたり定額法によって費用として計上しております。

前年度において、リースは、所有に伴うリスクと経済価値を実質的にすべて当社グループに移転する場合にはファイナンス・リースとして分類し、ファイナンス・リース以外のリースはオペレーティング・リースとして分類しております。

ファイナンス・リースについては、リース期間の起算日においてリース開始日に算定したリース物件の公正価値又はリース開始日に算定した最低支払リース料総額の現在価値のいずれか低い金額で、連結財政状態計算書に資産及び負債として当初認識しております。当初認識後は、リース期間の終了時までには所有権の移転が合理的に確実である場合には見積耐用年数で、合理的に確実でない場合にはリース期間とリース資産の見積耐用年数のいずれか短い期間にわたって減価償却を行っております。リース料支払額は、利息法に基づき金融費用とリース債務の返済額に配分しております。

オペレーティング・リースについては、リース料は他の規則的な方法により利用者の便益の時間的パターンがより適切に表される場合を除いて、リース期間にわたり定額法によって費用として計上しております。

(2) IFRS16の適用

当社グループは以下のIFRS16の経過措置の規定(修正遡及アプローチ)に従い、IFRS16を適用しております。

- ・ IFRS16適用による累積的影響を、適用開始日現在の利益剰余金の期首残高として認識
- ・ 過去にオペレーティング・リースに分類していたリースについて、
  - ①リース負債を、適用開始日における残存リース料総額を適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定
  - ②使用権資産を、以下のいずれかで測定し認識
    - (i) IFRS16がリース開始日から適用されていたかのように帳簿価額で認識。ただし、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引く
    - (ii) リース負債の測定額に前払リース料又は未払リース料を調整した金額で認識
  - ③適用開始日現在の使用権資産にIAS第36号「資産の減損」を適用

なお、IFRS16への移行にあたり、当社グループは、取引がリースであるか否かに関する従前の判定を引き継ぐ実務上の便法を適用することを選択しました。

また、当社グループは従来IAS第17号のもとでオペレーティング・リースに分類していたリースにIFRS16を適用する際に、以下の実務上の便法を適用しました。

- ・ 残存リース期間が12ヶ月以内のリースに、使用権資産とリース負債を認識しない免除規定を適用する。
- ・ 適用開始日の使用権資産の測定から当初直接コストを除外する。

IFRS16への移行に当たり、当社グループは適用開始日に使用権資産を62,843百万円(連結財政状態計算書上は有形固定資産に含めて表示)、リース負債を66,404百万円追加的に認識しました。また、これにより利益剰余金が1,262百万円減少しております。

# 2019年第1四半期決算 補足説明資料

1. 連結財政状態計算書サマリー
2. 連結損益計算書サマリー・指標等
3. 売上収益明細
4. 利益増減明細

キリンホールディングス株式会社  
2019年5月9日

1. 連結財政状態計算書サマリー

(単位：億円)

	2019年 第1四半期末 (実績)	2018年 期末 (実績)	増減額	増減内容
非流動資産	15,031	14,719	313	
有形固定資産	5,751	5,270	480	・IFRS第16号適用による使用権 資産の増加 他
のれん	2,372	2,442	△71	
無形資産	1,630	1,799	△169	
持分法で会計処理されている投資	2,440	2,406	34	
その他	2,839	2,801	37	
流動資産	7,644	8,318	△674	
棚卸資産	2,219	2,048	171	
営業債権及びその他の債権	3,600	4,049	△449	
現金及び現金同等物	1,270	1,731	△461	
その他	554	489	65	
資産合計	22,675	23,036	△361	
資本	11,210	12,009	△799	
親会社所有者帰属持分	8,516	9,161	△644	
非支配持分	2,694	2,848	△154	
非流動負債	5,380	5,128	253	
社債及び借入金	2,899	3,179	△281	・長短振替による減少 他 ・IFRS第16号適用によるリース 負債の増加 他
その他	2,482	1,948	534	
流動負債	6,084	5,899	185	
社債及び借入金	1,733	971	763	・CP発行による増加 ・長短振替による増加 他
営業債務及びその他の債務	2,140	2,271	△132	
その他	2,211	2,658	△446	
負債合計	11,464	11,027	437	
資本負債合計	22,675	23,036	△361	

2. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2019年 第1四半期 (実績)	2018年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上収益	4,343	4,312	31	0.7%
売上総利益	1,913	1,859	54	2.9%
販売費及び一般管理費	1,544	1,488	56	3.7%
事業利益	369	371	△2	△0.6%
その他の営業収益	24	182	△158	△87.1%
その他の営業費用	690	52	638	—
営業利益(△は損失)	△298	500	△798	—
金融収益	7	8	△1	△9.2%
金融費用	23	29	△6	△21.7%
持分法による投資利益	54	70	△16	△22.5%
持分法で会計処理されている投資の売却益	—	198	△198	—
税引前四半期利益(△は損失)	△260	746	△1,006	—
法人所得税費用	106	116	△11	△9.3%
四半期利益(△は損失)	△365	630	△995	—
親会社の所有者(△は損失)	△408	501	△908	—
非支配持分	42	129	△87	△67.3%
平準化EPS	25円	29円	△4円	△13.8%
売上収益(酒税抜き)	3,742	3,709	33	0.9%
事業利益率(対酒税抜き)	9.8%	10.0%		
平準化EBITDA	575	531	44	8.3%
グロスDEレシオ	0.54倍	0.43倍		

平準化EPS＝平準化四半期利益／期中平均株式数

平準化四半期利益＝親会社の所有者に帰属する四半期利益±税金等調整後その他の営業収益・費用等

平準化EBITDA＝事業利益＋減価償却費及び償却費(※)＋持分法適用会社からの受取配当金

※2019年度の減価償却費及び償却費は使用権資産の償却費を除いております。

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート

(単位：円)

	2019年 第1四半期 (実績)	2018年 第1四半期 (実績)
ライオン(豪ドル)	78.98	84.37
ミャンマー・ブルワリー (ミャンマーチャット('000))	72.86	80.58
CCNNE(米ドル)	110.27	107.47

(3) 主要在外会社損益の取込期間

	2019年第1四半期 (実績)	2018年第1四半期 (実績)
サンミゲルビール	2018年10月～2018年12月	2017年10月～2017年12月

3. 売上収益明細

(1) 売上収益明細

(単位：億円)

	2019年 第1四半期 (実績)	2018年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上収益	4,343	4,312	31	0.7%
国内ビール・スピリッツ	1,399	1,389	10	0.7%
キリンビール	1,363	1,354	9	0.6%
その他・内部及びセグメント間取引消去	36	35	1	3.1%
国内飲料	587	591	△5	△0.8%
キリンビバレッジ	591	595	△4	△0.6%
セグメント間取引消去	△4	△4	△1	—
オセアニア総合飲料	735	830	△94	△11.4%
ライオン	735	830	△94	△11.4%
酒類	398	463	△64	△13.9%
飲料	337	367	△30	△8.2%
セグメント間取引消去	△0	△0	△0	—
医薬・バイオケミカル	925	831	94	11.3%
医薬(協和発酵キリン)	756	662	94	14.2%
バイオケミカル(協和発酵バイオ)	185	187	△1	△0.8%
セグメント間取引消去	△16	△17	1	—
その他	698	671	27	4.0%
メルシャン	141	139	2	1.6%
ミャンマー・ブルワリー	91	77	14	17.9%
CCNNE	298	289	9	3.1%
その他・内部及びセグメント間取引消去	167	166	2	1.0%

当社は、協和発酵キリンの完全子会社である協和発酵バイオの株式の95%を、2019年4月24日に取得しました。2019年第2四半期以降、バイオケミカル事業は「その他」へ分類する予定です。

<参考> 酒税売上収益

(単位：億円)

	2019年 第1四半期 (実績)	2018年 第1四半期 (実績)
キリンビール	800	783

(2) 主要事業会社 販売数量明細

① キリンビール

	2019年 第1四半期		2018年 第1四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	111	△13.2	127	6.5
発泡酒	84	△7.9	91	△6.3
新ジャンル	155	27.3	122	13.2
計	349	2.7	340	4.9
RTD	81	15.3	70	4.5
ノンアルコール飲料	7	△5.6	8	70.6

上記売上数量は輸出及び酒税未納税分を除く

② キリンビバレッジグループ

	2019年 第1四半期		2018年 第1四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
カテゴリー別	万ケース	%	万ケース	%
紅茶	1,341	7.5	1,247	△2.7
日本茶	707	8.0	654	7.5
コーヒー飲料	565	△15.0	665	△9.2
果実・野菜飲料	500	△7.6	541	6.0
炭酸飲料	383	11.2	344	△11.2
健康・スポーツ飲料	181	△10.3	202	28.4
水	892	4.7	852	5.2
その他	299	0.1	298	2.8
計	4,868	1.3	4,804	0.5
容器別				
缶	735	△11.1	827	△9.4
大型PET(2L, 1.5L等)	1,639	5.7	1,551	4.2
小型PET(500ml, 280ml等)	2,088	6.3	1,964	0.6
その他	406	△12.2	462	8.8
計	4,868	1.3	4,804	0.5

4. 利益増減明細

(1) 事業利益明細

(単位：億円)

	2019年 第1四半期 (実績)	2018年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
			△	%
事業利益	369	371	△2	△0.6%
国内ビール・スピリッツ	122	114	8	7.2%
麒麟ビール	118	109	9	8.0%
その他	4	4	△1	△12.8%
国内飲料	28	39	△12	△29.2%
麒麟ビバレッジ	28	39	△12	△29.2%
オセアニア総合飲料	85	109	△24	△22.3%
ライオン	85	109	△24	△22.3%
酒類	102	120	△18	△14.7%
飲料	△1	9	△10	—
本社	△17	△20	3	—
医薬・バイオケミカル	183	149	35	23.3%
医薬(協和発酵麒麟)	175	130	45	34.5%
バイオケミカル(協和発酵バイオ)	6	12	△6	△47.4%
その他	2	7	△5	△70.8%
その他	48	38	10	26.7%
メルシャン	△1	0	△1	—
ミャンマー・ブルワリー	39	35	4	12.0%
CCNNE	0	△4	4	—
その他	9	7	3	37.1%
全社費用・セグメント間取引消去	△97	△78	△19	—

2019年度より、各セグメントの利益は事業利益に当社へのマネジメントフィを足し戻した金額であるマネジメントフィ控除前事業利益を使用しております。

(2) 主要事業会社 事業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年 増減	内容
キリンビール	酒類等限界利益減	△8	ビール類計 △12億
			ビール販売数量減 △17千kl
			発泡酒販売数量減 △7千kl
			新ジャンル販売数量増 33千kl
			ビール類以外計 8億
キリンビバレッジ	清涼飲料限界利益増	5	販売数量増 64万ケース 3億
			商品・容器構成差異等 2億
			原料費減 1億、材料費増 △3億、加工費増 △3億
			販売促進費増 △5億、広告費増 △6億 (計 62億→74億)
計		9	その他費用減 11
			原材料費減 3
			販売費減 3 販売促進費減 6億、広告費増 △3億(計 141億→138億)
計		△12	その他費用増 △1
			原材料費等増 △5
			販売費増 △11
			その他費用増 △1
計			全社費用直課分減 6億 他
計			全社費用直課分減 2億、自販機償却費増 他

(3) その他の営業収益・その他の営業費用

(単位：億円)

	2019年 第1四半期 (実績)	2018年 第1四半期 (実績)	対前年増減
その他の営業収益	24	182	△158
有形固定資産及び無形資産売却益	15	21	△6
子会社株式売却益	—	121	△121
その他	9	40	△32
その他の営業費用	690	52	638
減損損失 ※	573	5	568
事業構造改善費用	61	5	56
ソフトウェア開発費	25	20	6
有形固定資産及び無形資産除売却損	2	4	△2
その他	28	18	10

※ 2019年第1四半期の減損損失には、ライオン飲料事業に係る固定資産の減損損失571億円が含まれています。

(4) 金融収益・金融費用・持分法による投資利益 等

(単位：億円)

	2019年 第1四半期 (実績)	2018年 第1四半期 (実績)	対前年増減
金融収益	7	8	△1
受取利息	4	5	△0
受取配当金	2	3	△0
その他	0	1	△0
金融費用	23	29	△6
支払利息	21	15	5
為替差損(純額)	0	13	△12
その他	2	2	1
持分法による投資利益	54	70	△16
サンミゲルビール	63	67	△4
その他	△9	3	△12
持分法で会計処理されている投資の売却益	—	198	△198

(5) その他

2019年4月26日付で、第1四半期にライオン飲料事業に係る固定資産の減損損失571億円の計上を見込んだ結果、2019年12月期の連結業績予想を修正しております。

【2019年12月期の連結業績予想】

(単位：百万円)

	売上収益	事業利益	税引前利益	当期利益	親会社の 所有者に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
2月14日付発表予想 (A)	2,000,000	190,000	190,000	139,000	120,000	136円67銭
4月26日付修正予想 (B)	2,000,000	190,000	132,900	81,900	62,900	71円64銭
増減額 (B-A)	—	—	△57,100	△57,100	△57,100	—
増減率 (%)	—	—	△30.1	△41.1	△47.6	—
前期実績(2018年12月期)	1,930,522	199,327	246,852	195,211	164,202	183円57銭